

廣瀬仁のルポルタージュ

靈的人生を歩むためのヒント

2026/4/28 地上人生に重要な3つの力





「E21-F ④」 アルト ノウロウイ ARUT.NOROUY 足立育朗

地上人生を生きる上で必要な3つの力

今回のルポルタージュは「3つの力」のお話から始めます。人生とは靈的巡礼の旅路であり、地上世界も靈的世界も「靈性の進化」のために生きています。そのために必要な3つの力とは「關心力」「理解力」「行動力」であり、この3つの力が地上人生を生き抜く力「生命力」に繋がってきます、そして、この力はひとつでも欠けてはならないことを覚えておいてください。

知識の數かずとは疑問の數であり、何事も疑問に思う感性が「關心力」の根源です。『シルバーバーチの靈訓』で、古代靈シルバーバーチは「神は人間に『疑う心』を植えつけておられます。眞實性しんじつを確かめるための批判的精神です。正直な批判は少しも悪いも

のではありません。しんじつ眞實を知りたいがために疑ってかかる人をわたし達たちは大いに歓迎します」と述べており、關心力についてを述べています。そして靈的人生を歩む決心をした人間が最初にするべきことは、その指針となる「靈的眞理を正しく理解すること」が最優先事項です。せつかく素晴らしい靈的眞理が与えられても、それを正しく理解できないなら、眞理を手にした意味がなくなってしまうです。人生最高の宝をドブに捨てることになってしまいます。

靈的眞理の正しい理解における大きな問題は、眞理の一部分だけを取り出して、自分勝手に眞理をゆがめて解釈するということです。自己流の偏った解釈は、眞理を全く価値のないものにしてしまうだけでなく、深刻な弊害をもたらすこととなります。地上人類は何よりもまず「靈的眞理の正しい理解」をしていく必要があるのです。

そもそも人生の成功、失敗の上下は「關心力」「理解力」「行動力」で決まります。この内容は靈界通信だと思ってくれて構いませんが、ひとつ情報を提示します。

精神世界とは何か？

……

哲学てつがくです

哲学てつがくとは何か？

……

疑問に思う力です

疑問とは何か？

……

本質（※真理）を追窮することです

本質の追窮とは何か？

……

眞の科學かがくです

眞の科學かがくとは何か？

……

自然法則（※本質）の追窮です

スピリチュアルとは何か？

……

リアル（※本質）です

リアルとは何か？

……

永遠不変ふへんのものです

永遠不変ふへんとは何か？

……

神（※大靈たいれい）と神の攝理せつり（※自然法則）です

自己啓發けいはつとは何か？

…… ポジティブシンキングです

これらの内容は靈界通信によって与えられた情報の一部です。中山康直という方が通信靈であるMANAKAマナカに3千個ほど質問したと述べていますが、わたしは1万ほどは靈界に質問しています。この根源は「關心力」「疑問力」「質問力」であり、この3つの力と「正しく理解する力」、「何事も積極的に行動する姿勢」が地上人生の成功、失敗の上下を決めるのです。

關心力、疑問力、質問力がインスピレーションの始原

地上人生で、靈的巡礼の旅路に向かう最低限のスタートラインは、正しい理解力の

前に必ず「關心力」が必要です。マザー・テレサは「愛の反対は無關心」であると述べており、地上世界の悲劇の根源である「靈的無知」は「本質への無關心」という大衆心理が最大の原因です。

更にキング牧師は「最大の悲劇は、悪人の压制や残酷さではなく、善人の沈黙である。沈黙は、暴力の影に隠れた同罪者である」と言葉を残しており、「靈的無知」とは「無口（※善人の沈黙）」と「（※眞理への）無關心」が生み出していることを示唆しほしています。

地上世界の悲劇は「靈的無知」であり、この最大の原因は「無口（※善人の沈黙）」と「（※眞理への）無關心」ならば、イエスを総指揮者リダーとした、靈

界主導の「地球人類救済計画」^{スピリチュアリズム}が地上世界に靈的眞理を普及させることが目的な理由も頷けます。

地上世界はあらゆる宗教、教育すべての靈的無知から「利己主義（※政治、經濟）」「物質中心主義（※現代科學、現代醫學）^{かがく}」により、終わらない悲劇が繰り返されている、ここを正しく理解できるかが地上人生のターニングポイントであるとわたしは感じます。

關心力、疑問力、質問力は「本質（※神と神の攝理）^{せつり}の追窮」という神を知りたい、神に近づきたいという願望であり、これこそが「禱り」^{いのち}の本質であり、これが「インスピレーション」の始原になるのです。

關心力と理解力と行動力の一致は具現化される

關心力、理解力、行動力の三位一體さんみいつたいが合致している人間は、一般大衆と何が違うのか？皆さんはそこを眞剣に關心を寄せたことはありますか？答えは、見た目の若々しさ、会話のユーモア、人へのDEVILデヴィックの方法、物事の伝え方つた、心身の健康状態、お金の有無、仕事の状況（人間関係）の「質」が違います。これが關心力、理解力、行動力が一致している人間の特徴です。

この中で「お金」にポイントを置いてみましょう。日本人は極めてマネーリテラシーが低い民族ですが、マネーリテラシーとは、お金の知識と思っている人が多いですが、本当は「お金の知識」と「行いの知識」の合致によって、資産は向上する事を理

解できる人は殆どいません。

お金の知識と行いの知識と「行動力（※知識と行動の一致）」は一緒であり、地上世界は資本主義社會しゃかいであり、残念ながらお金がなければ生きていけない國くにが殆どであり、靈的眞理である「無償の奉仕」と「自己犠牲」の定義からは外れますが、生活費の確保というのは生きていく上でどうしても必要になります。そこを理解せずに行くらもがいた所で、結果良い人生にはなりません。

人生は「原因と結果の法則」で成り立っていますから、人間は自分の行いの範疇でしか結果は出ません。自分自身の「行動」という原因が、今の自分自身の「現象（結果）」を作っているのですから、その行動の原点は「知識の量」「理解力の質」が行動

と結果に反映される、この法則に例外はありません。

關心力、理解力、行動力の一致は必ず具現化します。見た目、会話力、シエアの工夫、心身の健康状態、お金の有無、人間関係の質として具現化され、目に見える形で結果に反映されます。3つの力は必ず可視化されます。だから理解力のある人間と、理解力のない人間の見分け方は分かりやすいのです。必ず具現化されますから。

理解力がない人間の特徴は「物事」を知らない人が多いです。「そんな事も知らないのか……」と思う人間が対象者です。學問、がくもん哲學はてつがく勿論の事、日常生活に必要な漢字、言葉、歴史、文化、芸能、スポーツ等々、一般的な枝葉末節しやうまつせつの知識すら無さ過ぎる人が多いです。それが理解力がない人間の特徴です。

そもそも理解力の根本的なことは、關心力が無いから常識的な知識がまったく入っていないのです。關心力のない人間は視野が狭く会話の引き出しも無ければ、話す力も低ければ質問力も低い。結果、人として面白くも何とも無い、魅力も無い人間となります。地上世界の上下は、この方程式で構築されています。

困難に積極的にチャレンジする必要性

理解力、行動力の一致を四字熟語で「知行合一ちこうごういつ」（※知識と行動の一致）^{ちこうごういつ}」^{ちこうごういつ}といいま

す。そもそもスピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理とは「ポジティブシンキン

グな行動學」であり、積極的に地上人生を生き抜くための知識であり、靈的知識は地

上人生を明るく前向きに生きるために必要なものです。靈的眞理に反發し拒否する人

間は、自ら幽界最下層の地獄のような場所に行きたいと宣言しているようなものであり、「神とイエスへの冒瀆（※神への反逆）」という、靈的に最も重い罪を背負うことになります。そもそも人生の目的は「調和の實踐、調和の具現化による靈性の進化」であり、そのためには關心力、理解力、行動力すべてが必要です。その3つの力は質問力、表現力、けいぞくりよく繼續力として昇華した時、必ず人生は好轉こうてんしていきます。そのために必要なのが疑問力、判断力、即決力になります。

- ① 關心力（疑問力↓質問力）
- ② 理解力（判断力↓表現力）
- ③ 行動力（即決力↓けいぞくりよく繼續力）
- ④ 生命力（關心力、理解力、行動力の三位一體）さんみいったい

少なくとも、廣瀬仁は地上人生に置ける重大なターニングポイントは、必ず直観に従って即決し行動し、結果を出しています。何故なら「迷うだけ時間の無駄」だからであり、リスクを取ってリターンの道を選択しているからです。

人生は「無難ぶなん」と「有難ゆうなん」なら、地上人類は迷わず無難ぶなんな道を選択しますが、靈的眞理は「有難あこそが靈性を成長させてくれる有り難がたいものであり、感謝して積極性にチャレンジしなさい」と教えてくれています。この教えこそが靈的眞理の眞髓なのかもしれません。

そもそも死後に幽界で、殆どの地上人が激しい後悔をする理由は「地上人生で靈的眞理の重要性に氣づけず、チャレンジしなかったことへの後悔」こそが心の苦悶くもん、地

獄の本質です。

そうならないためには、「靈優位の努力」をした上で「無償の奉仕と自己犠牲」の選択を「積極的に選んで行動する」というシンプルな方程式で成り立っています。

その教えを正しく理解した上で、積極的に利他、奉仕の行動をしていくことで地上世界が徐々に改善されていく、その仕事は死後にも^{けいぞく}繼續して靈界から地上人をサポートすることで更に發展していくことを正しく理解したならば、如何に即決力（直觀力）を身につけ即實行、行動、^{けいぞくりよぐ}繼續力を身につけるのが重要性が視えてきます。

シルバーバーチは「靈的知識をたずさえた者に樂な仕事はありません。知識が増え

れば増えるほど、ますます困難に遭遇するものと覺悟してください。こんなことを言うからわたしは人氣が出ないのでしょね」と述べていますが、確かに靈的眞理は困難に積極的にチャレンジしないと説くからこそ嫌われます。

靈的知識は實踐しなければ意味がない

正直、關心力、理解力があっても、最終關門が「實行」であり、靈優位の努力もしなければ、神の教えである無償の奉仕と自己犠牲の實踐もまったくしない人間があまりにも多すぎます。それが靈的眞理をドブに捨てるばかりか、幽界最下層行きという深刻な弊害を生み出します。そうならないためには、言い訳無用で日々の生活全般の徹底的見直しという行動を起こす必要があります。

そして「行動とはD I K A G顕在意識で決心した時から」であり、D I K A G顕在意識で決心せずに動くことは行動とは言いません。現在、Kindleの電子書籍では購入可能な『足立育朗と語る（※書籍は絶版になっている）』で、そのことがくたいてき具体的に述べられています。

「ただ、はっきり言えることは、気づいたら、基本的にはそれを実行するという。これがまず自然の仕組みでは、基本なんです」

しかし、大半の地上人は、気づいていても実行しない。それが、一番多いのが、自

己流に歪めて実行する人が多いと『波動の法則 実践じっせんたいけん体験報告』で述べられています。

す。これが一番危険なのです。間違った理解でD I K A G顕在意識で行動してる「つもり」で自

己満足してしまい、自分自身の過ちをD I K A G顕在意識で自覚できない方が多いのです。そう

したことにならないために「何事も正しい理解をした上での行動」が大切であり、これが關心力、理解力、行動力が三位一體さんみいつたいでなければならない理由です。

何事も正しい理解をするため必要なことは「疑問に思う感性、的確な質問」で知識を増やしていき、それが正しい理解力を培い、判断力と表現力が磨かれ、場に適した行動をしていけるようになり、その場に適したインスピレーションで生きれるようになっていくのです。これを身につけること、それが靈優位の生き方の本質なのです。

これを読んでいる皆さんは、こうした情報を生かすも殺すも自分次第ではありませんが、理解力の欠如で廣瀬仁を落胆させることを繰り返す愚行をもうそろそろ終わらせてほしいと切に願います。